

整理番号	9-1	事務事業名	姉妹都市交流事業		作成部署	総務部秘書課	電話	内線715
事務区分	自治事務	法定受託事務	部長職名	西野 隆夫	課長職名	高田 信夫	作成日	平成17年6月
事務事業開始年度	S52	根拠法令等	なし					
〃 終了予定年度								
事務事業開始のきっかけ(導入当初の目的等)	昭和52年から、当市の開拓の歴史に深い関わりを持つ広島県、広島市との物産交流を行い、さらに昭和55年に東広島市と姉妹都市を締結したことによる。							

1 計画(プラン)

上位施策との関連(総合計画での位置付け)	章	いきいきとした交流と連携のまち		(第3章)
	節	広域交流		(第2節)
	施策	都市間交流		(第3施策)
目的(ここから成果指標を導きます)	対象(誰、又は何を)	・北広島市、東広島市の市民 ・広島赤十字原爆病院入院者、広島原爆養護ホーム入所者		
	意図(何をねらっているのか、対象をどのような状態にしたいのか)	北広島市、東広島市の郷土祭りに相互訪問することで、地域特性を活かした行政、教育、経済、文化などの分野での情報や交換や市民相互の交流の推進を図る。		
手段(ここから活動指標を導きます)	市が行った(行う)事務事業の具体的な実施内容(団体補助等の場合はその補助金による団体の活動内容を記載)	16年度まで	・「北広島ふるさとまつり」の時期に東広島市からの訪問団の受け入れ ・「東広島酒まつり」の時期に東広島市へ訪問団を派遣 ・広島赤十字原爆病院、広島原爆養護ホームで原爆症に苦しんでいる方々を励ますために「グリーンアスパラ」を送付	
		17年度	同上	

2 実施(ドウ)

【事業費の推移】

(単位:千円)

区 分		15年度(決算)	16年度(決算)	17年度(予算)	18年度(予定)
直接事業費	国支出金				
	道支出金				
	地方債				
	その他特財				
	一般財源	938	913	828	913
	合計	938	913	828	913
人件費(概算)	人数(年間)	0.08	0.08	0.08	0.08
	1人当り年間平均人件費	9,000	9,000	9,000	9,000
	= ×	720	720	720	720
総事業費 +		1,658	1,633	1,548	1,633

【事務事業を評価する指標(ものさし)】

指 標	指 標(算式)	指 標 値			
		15年度	16年度	17年度(目標)	18年度(目標)
活動指標 (事務事業の活動量や実績)	派遣回数(回)	1	1	1	1
	受入回数(回)	1	1	1	1
	グリーンアスパラ発送回数(回)	1	1	1	1
成果指標 (目的の達成度を測るものさし)	派遣団員数(人)	4	4	4	4
	受入団員数(人)	5	5	5	5
	グリーンアスパラ発送数量(kg)	192	180	138	138
効率指標 (主要活動単位当たりコスト)	指標設定は困難				

3 評価(チェック)と改善(アクション)

事務事業を取り巻く社会環境の変化や今後の予測・他市町村の動向等	平成17年2月7日、東広島市は黒瀬町、福富町、豊栄町、河内町及び安芸津町と合併をした。他市町村においても姉妹都市締結を結び、訪問団派遣・受け入れといった交流事業を行っている。高度情報化(IT化)時代に入り、時間・距離にとられない幅広い交流と連携が求められる。
---------------------------------	---

【妥当性の評価と改善の方法等】

項目	判定	判定の説明や課題	改善の方法
行政関与の妥当性 【市が実施すべき事務事業ですか。市民・企業等での実施可能性はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	市民相互の交流活動を効率的かつスムーズに行えるよう側面から支援することが目的であり、行政が主体的に取り組む事業である。	
目的の妥当性 【社会経済情勢や市民ニーズの変化などから、設定した対象や意図は妥当ですか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	相互理解と連携意識を広く市民に浸透させ、市民相互の交流を推進することが目的であり、姉妹都市締結後、北広島市と東広島市は良好な関係を築いてきている。	
手段の妥当性 【現在の手段は適切ですか。もっと効率的で有効な手法はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	多数の市民が集う郷土祭りに併せての派遣・受け入れであり、目的・人数からみても妥当である。アスバラの送付は全日空、日通の協力を得て実施している。	
受益者負担の妥当性 【受益者負担の適正化の余地はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入) 該当しない	訪問団及び見舞いは、受益者に該当しないため受益者負担はない。	

【有効性と効率性の評価と改善の方法】

項目	判定	判定の説明や課題	改善の方法
有効性の評価 【意図した成果は上がっていますか】	十分成果が上がっている 概ね成果が上がっている あまり成果が上がっていない 成果が上がっていない	市民相互交流の推進という観点から判断して成果は上がっている。アスバラの送付は、新聞で報道され、市民の反応も良く、送付された方々からも礼状をいただき、意図した成果は上がっている。	
効率性の評価 【手法は効率的ですか。コスト削減の方法はありませんか】	十分効率的 概ね効率的 やや非効率 かなり非効率	姉妹都市交流事業に支障のきたさない範囲で回数・人数・アスバラ送付数量等経費削減を行っている。	

【事務事業担当部局内優先度】

部局で所管するすべての事務事業の中で、この事務事業の位置づけはどの程度ですか

A B C

4 総合判定と今後の方向性

【1次評価】	判定	今後の方向性や改善方法など
事務事業担当部局の総合判定 【上記3の評価と改善を踏まえ、今後の方向性についての総合判定と改善方法を記入】	拡大・重点化する 現状のまま継続する 見直しの上で継続する 統合する(検討含む) 縮小する(検討含む) 廃止・休止する(検討含む) 終了	広く市民に相互理解と連携意識を浸透させ、市民相互の交流の機会拡充を検討しつつ、更なる推進を図るため、今後も行政として、姉妹都市交流事業を継続していく。 なお、事業内容の検討にあたっては、東広島市と充分協議する。
【2次評価】	判定	今後の方向性等
行財政構造改革推進本部の総合判定	拡大・重点化する 現状のまま継続する 見直しの上で継続する 統合する(検討含む) 縮小する(検討含む) 廃止・休止する(検討含む) 終了	1次評価のとおり